

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 サンゲツ

コード番号 8130 URL <https://www.sangetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫 TEL 052-564-3333

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	35,257	△9.3	1,342	△28.4	1,531	△29.4	1,069	△41.3
2020年3月期第1四半期	38,884	1.6	1,873	94.5	2,170	62.7	1,820	81.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,283百万円 (△13.2%) 2020年3月期第1四半期 1,478百万円 (ー)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	17.65	17.64
2020年3月期第1四半期	29.76	29.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	164,196	93,736	56.5
2020年3月期	164,101	94,217	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 92,838百万円 2020年3月期 93,244百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	28.50	ー	29.00	57.50
2021年3月期	ー				
2021年3月期 (予想)		29.00	ー	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年3月期の配当予想につきましては、本日 (2020年8月4日) 公表いたしました「配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	135,000	△16.3	4,200	△54.7	4,500	△54.3	2,300	60.6	37.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2021年3月期の連結業績予想につきましては、世界的に広がる新型コロナウイルス感染症の影響により現時点では合理的な算定が困難なことから、通期の予想のみとしています。なお、業績予想修正の必要性が生じた場合には、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	61,150,000株	2020年3月期	61,750,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	584,724株	2020年3月期	1,184,644株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	60,565,355株	2020年3月期1Q	61,186,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の低下により、景気は急速に減速しました。5月下旬の緊急事態宣言の解除に伴い、国内の経済活動は一部回復しつつありますが、先行きは極めて厳しく不透明な状況です。

当社事業に関連の深い建設市場におきましては、新築住宅関連では新型コロナウイルス感染症拡大前に着工された住居の内装工事が進捗したことから大きな落ち込みはなかったものの、住宅リフォーム工事及び店舗やホテル、商業施設といった非住宅分野のリニューアル工事の延期・中止が発生するなど、厳しい市場環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは、長期的なビジョンを明確にした上で持続的な成長を目指すべく、Sangetsu Group長期ビジョン[DESIGN 2030]及び、そのファーストステップとして、3ヵ年の中期経営計画(2020-2022)[D.C. 2022]を発表しました。本中期経営計画では、「基幹事業の質的成長による収益の拡大」と「基幹事業のリソースに基づく次世代事業の収益化」を重要な基本方針の柱としております。この「次世代事業の収益化」に向けた展開の一環として、当第1四半期連結会計期間より、インテリア事業で培ったリソースを活かし、デザインから施工までの空間づくり全体に携わるスペースクリエーション事業を新たなセグメントとして加えました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高35,257百万円(前年同期比9.3%減)、営業利益1,342百万円(同28.4%減)、経常利益1,531百万円(同29.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,069百万円(同41.3%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、前述の通り、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを以下のとおり4区分に変更し、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(インテリアセグメント)

壁装事業では、2019年6月に発刊した量産壁紙見本帳「SP」が前年度に引き続き売上が牽引したほか、2020年1月に発刊したガラスフィルム見本帳「CLEAS」の市場への浸透が進み、好調に推移しました。また、2020年6月には、住宅向け見本帳「リザーブ1000」や「リフォームセレクション」及び同柄展開のリアテック・不燃認定壁紙・ハードウォールを1冊に収録した見本帳「イージーコーディネート」を発刊し、拡販に努めました。その一方、新型コロナウイルス感染症の影響による市場の縮小や営業活動の制限により、壁装材の売上高は13,399百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

床材事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により市場全体が低迷する中で、緊急事態宣言解除後に住宅リフォーム市場での若干の持ち直しが見られ、ビニル床タイル見本帳「フロアタイル」や家庭用クッションフロア見本帳「Hフロア」が売上が牽引しました。また、大規模修繕工事を中心に防滑性ビニル床シート「ノンスキッド」の採用が進みました。しかしながら、オフィスや商業・宿泊施設をはじめとする非住宅分野の一部で、工事の中止や遅延が発生したこと等も影響し、床材の売上高は9,589百万円(同11.5%減)となりました。

ファブリック事業では、2019年5月に発刊した住宅向けカーテン見本帳「AC」の売上が、引き続き堅調に推移しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療分野を中心として抗ウイルス機能を持つカーテンへの需要が高まりました。その他、外出自粛に伴いカーテン専門販売会社である株式会社サンゲツヴォーナにおけるEC事業「WARDROBE sangetsu」の売上が伸長したものの、主軸となる住宅市場の縮小により、カーテンと椅子生地をあわせたファブリックの売上高は1,750百万円(同10.4%減)となりました。

これらのほか、施工費や接着剤などを含むその他の売上1,597百万円(同28.5%減)を加え、インテリアセグメントにおける売上高は26,336百万円(同11.2%減)、営業利益は1,381百万円(同28.4%減)となりました。

(エクステリアセグメント)

エクステリアセグメントを担う株式会社サングリーンにおいては、新型コロナウイルス感染症の影響による工事の延期や新規受注の減少により、「フェンス」や「カーポート」といった主力商品の売上が低迷し、これに伴う施工費も減少しました。その一方で、外出自粛によりEC市場の需要が高まったことで、「宅配ボックス」の売上が伸長したほか、購入者自身で組み立てができる小型物置等の販売が堅調に推移しました。また、中期経営計画に係る施策として、事業領域の拡大に向けた検討を進めているほか、人材育成にも取り組んでおります。

この結果、エクステリアセグメントの売上高は3,707百万円(前年同期比9.5%減)、営業利益は122百万円(同27.6%減)となりました。

(海外セグメント)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、新型コロナウイルス感染症の影響による企業活動停止等の規制が出される中で、壁紙を含む建築資材が、食料品や医薬品と同様に生産活動の継続を許可されたこともあり、安定的な商品の供給に努めております。こうした状況下で、2019年7月から10月にかけて導入した新規壁紙生産設備が本格稼働し、デザイン・品質の向上やスクラップ率の低減に取り組んでおります。また、現在のメインターゲットであるホテル市場以外にヘルスケアなど他市場への営業活動に注力したほか、商品開発力の強化等製造メーカーとしての自社ブランド力の向上を図りました。

中国市場を担う山月堂(上海)装飾有限公司においては、新型コロナウイルス感染症の影響をいち早く受けましたが、オフィス案件へのカーペットタイルやフロアタイルといった床材の納品が売上を牽引しました。また、Goodrich Global Holdings Pte., Ltd.との中国における協業を進め、中国事業の再編と組織体制の再構築に取り組んでおります。

東南アジア市場を担うGoodrich Global Holdings Pte., Ltd.は、競合先の低価格指向に対応するために、調達先を含めた商品ラインアップを見直し、販売強化に努めました。また、2020年4月1日にはベトナム現地法人Sangetsu Goodrich Vietnam Co., Ltd.の営業を開始し、東南アジア地域における、各国の市場に合わせた経営基盤の強化を進めています。

経済活動全体の減速や市場の縮小、競合他社との競争激化等、経営環境は厳しさを増したものの、海外セグメントでは2020年1月から3月までの各社の実績を当第1四半期連結累計期間の業績に算入しており、中国市場においては1月より新型コロナウイルス感染症の影響が見られましたが、北米や東南アジア市場での影響は3月後半からであったことから、海外セグメントにおける売上高は4,470百万円(前年同期比5.1%減)、営業損失は176百万円(前年同期は営業損失273百万円)となりました。

(スペースクリエーションセグメント)

当第1四半期連結会計期間より新たに加わったスペースクリエーションセグメントは、内装仕上工事業を担う子会社フェアトーン株式会社と、当社のスペースクリエーション事業部で構成しています。これまで培った顧客基盤やデザイン力、施工力を活かし、コンサルティング力や施工管理力等の向上を図り、スペースクリエーション事業全体での成長を目指します。

当第1四半期連結累計期間については、フェアトーン株式会社において、コントラクト市場の新築工事や大手内装施工事業者の支援工事等が堅調に進み、売上が牽引しましたが、より短期的な影響を受けやすい改修工事においては、5月下旬より新型コロナウイルス感染症の影響を受け、工事量が減少しました。一方、当社のスペースクリエーション事業部では、設計や施工管理を担う人材強化や営業体制の構築を進めるとともに、インテリア事業で培ったリソースを活かし、オフィスを中心とした非住宅分野のリニューアル市場への営業活動に努めました。

この結果、スペースクリエーションセグメントでは、事業領域の拡大により売上高は1,016百万円(前年同期比78.5%増)となったものの、それに伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより営業利益は21百万円(同49.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べて95百万円増加し、164,196百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて480百万円減少して93,736百万円となり、自己資本比率は56.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月19日発表のとおりで変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,756	32,481
受取手形及び売掛金	34,751	30,495
電子記録債権	12,318	12,055
有価証券	4,125	6,422
商品及び製品	15,083	16,210
仕掛品	481	402
原材料及び貯蔵品	1,938	2,095
その他	1,616	1,393
貸倒引当金	△481	△389
流動資産合計	100,591	101,166
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,418	19,418
その他(純額)	16,254	16,011
有形固定資産合計	35,673	35,429
無形固定資産		
ソフトウェア	2,647	2,490
のれん	40	36
商標権	5,797	5,758
その他	747	724
無形固定資産合計	9,233	9,010
投資その他の資産		
投資有価証券	10,222	10,699
長期貸付金	10	10
繰延税金資産	4,938	4,512
その他	3,481	3,397
貸倒引当金	△49	△29
投資その他の資産合計	18,603	18,590
固定資産合計	63,509	63,030
資産合計	164,101	164,196

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,235	11,072
電子記録債務	13,583	13,160
短期借入金	1,457	848
1年内返済予定の長期借入金	11,383	11,131
リース債務	180	166
未払法人税等	2,283	298
賞与引当金	1,960	1,127
役員賞与引当金	-	8
製品保証引当金	663	623
資産除去債務	28	28
その他	6,925	6,063
流動負債合計	50,701	44,530
固定負債		
長期借入金	7,638	14,464
リース債務	144	110
繰延税金負債	1,878	1,850
役員退職慰労引当金	28	29
退職給付に係る負債	8,183	8,159
資産除去債務	630	631
長期末払金	2	2
その他	676	681
固定負債合計	19,182	25,929
負債合計	69,883	70,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,000	20,000
利益剰余金	62,853	60,929
自己株式	△2,440	△1,204
株主資本合計	94,028	93,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	492	844
繰延ヘッジ損益	22	41
為替換算調整勘定	204	46
退職給付に係る調整累計額	△1,503	△1,435
その他の包括利益累計額合計	△784	△503
新株予約権	83	76
非支配株主持分	889	821
純資産合計	94,217	93,736
負債純資産合計	164,101	164,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	38,884	35,257
売上原価	25,857	23,707
売上総利益	13,027	11,550
販売費及び一般管理費	11,153	10,207
営業利益	1,873	1,342
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	67	69
不動産賃貸料	11	7
持分法による投資利益	128	88
その他	117	71
営業外収益合計	331	243
営業外費用		
支払利息	18	29
自己株式取得費用	3	-
為替差損	-	21
その他	12	2
営業外費用合計	34	53
経常利益	2,170	1,531
特別利益		
固定資産売却益	0	0
関係会社株式売却益	162	-
新株予約権戻入益	-	7
特別利益合計	163	7
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	2,323	1,539
法人税、住民税及び事業税	274	214
法人税等調整額	244	285
法人税等合計	518	500
四半期純利益	1,804	1,039
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16	△30
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,820	1,069

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,804	1,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△419	351
繰延ヘッジ損益	△70	19
為替換算調整勘定	94	△192
退職給付に係る調整額	67	67
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△1
その他の包括利益合計	△325	244
四半期包括利益	1,478	1,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,485	1,350
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△67

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会における決議に基づき、2020年6月30日に自己株式600,000株を消却しました。主にこの影響により、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は584,724株、1,204百万円となりました。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア	エクステリア	海外	スペース クリエーション	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	29,507	4,098	4,709	568	—	38,884
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	—	—	0	△151	—
計	29,658	4,098	4,709	569	△151	38,884
セグメント利益又は 損失(△)	1,929	168	△273	41	6	1,873

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア	エクステリア	海外	スペース クリエーション	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	26,062	3,707	4,470	1,016	—	35,257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	273	—	—	0	△273	—
計	26,336	3,707	4,470	1,016	△273	35,257
セグメント利益又は 損失(△)	1,381	122	△176	21	△6	1,342

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「インテリア」、「エクステリア」及び「海外」の3区分から、「インテリア」、「エクステリア」、「海外」及び「スペースクリエーション」の4区分に変更しております。

これは中期経営計画(2020-2022) [D.C.2022] における「次世代事業の収益化」に向けた展開の一環として、内装仕上工事業を担う子会社フェアトーン株式会社及び当社のスペースクリエーション事業部を「スペースクリエーション」セグメントとして区分したものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は2020年6月25日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことを決議し、以下のとおり自己株式を処分しました。

(1) 処分期日	2020年7月13日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 27,250株
(3) 処分価額	1株につき1,504円
(4) 処分総額	40,984,000円
(5) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割り当てる株式の数	取締役(監査等委員であるものを除く) 2名 12,500株 執行役員 5名 14,750株